

1年 主題：友達を思う心
「およげないりすさん」

りすを置いて遊びに行ったあひるとかめ、白鳥が、りすを断って島で遊んでいるときの気持ちを考えることを通して、友達の気持ちに気が付き、これからの生活の中で友達と仲よく助け合おうとする態度を養うことをねらいとしました。



中心発問では、「みんなは島で遊んでいても、なぜ少しも楽しくないのか。」と分析的な発問を行い、全体交流では、役割演技の場を設定し、児童の思いを引き出すとともに、補助発問により多面的に考えさせ、ねらいとする価値へ迫りました。



終末では、導入で提示したアンケートの事柄について話し合うことで、日々の生活の中でたくさんの友達と一緒に助け合ったりよさを見つけたりして生活していることに気付かせ、行動の価値付けを行い、これからの意欲につなげていきました。

